

2020年度第50回通常総代会開催 7/11(土) 生協食堂ホール 生協非常事態 打開の鍵は皆様の利用拡大

今年度の府庁生協通常総代会は7月11日(土)に生協食堂ホールで開催されました。新型コロナの影響で5月から7月に延期しての開催で、三密を避けるため実出席は少人数となりました。(出席12名、書面議決84名 合計96名(総数100名)で成立)
採決では、①2019年度の事業報告と決算、②2020年度事業計画と予算、③役員選任、④役員報酬限度額、⑤非常事態宣言の5つの議案すべてが大多数の賛成で可決されました。園田理事長が退任し、山田新理事長に替わりました。

【採決結果】

第1号議案	2019年度事業報告及び決算関係書類等承認の件
第2号議案	2020年度事業計画及び予算決定の件
第3号議案	役員選任の件
第4号議案	役員報酬限度額決定の件
特別決議	非常事態宣言

賛成	保留	反対
93	2	0
93	2	0
93	2	0
92	3	0
88	6	1

【来賓】

京都府知事代理 林田職員総務課長
京都府職員労働組合連合 佐藤副委員長

2019年度も、「府職員の福利厚生の一翼を担い、組合員のくらしの色々な場面で役立つ事業活動の推進」のため、購買事業、食堂事業、保険等サービス事業をすすめました。

しかし、年度当初から教育庁の仮移転で本庁職員の10%が減少するなど、厳しい状況がすすみ、最終的には398万円の赤字決算となりました。

(千円)

【決算・予算】	2019決算	2020予算
供給高	509,492	480,670
供給剰余	73,464	71,171
手数料収入	13,349	15,828
人件費	65,650	66,874
物件費	26,027	25,858
当期剰余	-3,982	-5,366

【発言・質疑】 (文書発言)

- ・厳しいからとすぐに値上げに結びつけるのではなく知恵を出すべき。
 - ・売店は、品切れで販売機会を逸さないようにすべき。
 - ・食堂は、導線を見直し、「密」をなくし昼休みの幅を広げるなど府への働きかけを。
 - ・教育庁の戻りや文化庁の転入をチャンスと捉え、計画的対応を。
 - ・今年度の赤字予測額が大きくて驚いている。何とか乗り越えてほしい。
- (理事会)非常事態宣言も行い、皆さんの協力を仰ぎ、様々な努力を行っていく。

2020年度は、前年度の状況を前提にした予算策定をせざるを得ず、530万円のマイナス予算となってしまいました。その中で、このマイナスをできるだけ小さくし、教育庁の戻りと文化庁の転入となる2022年度まで繋いでいけるかの重要な年度です。

ところが、年度が始まるやコロナの影響がもろにやってきて、これをどう乗り越えるのかまさに正念場の年となっています。



開会挨拶(園田理事長)



採決



山田新理事長挨拶